



「もう署名しましたよ」「家族もみんなしました」「減便は不便になり困ります」

# 哇野駅前での署名 446 人分 検討委員会へお届け

6月議会 請願採択にむけてがんばります！

大和交通検討委員会が集めておられる「大和循環バスの平日38便運行維持に関する請願書」の署名。私(黒田)も微力ながら協力させていただきます。

場所や時間帯を分けて署名用紙を配布し、直接の回収や大和自治会館・回収ボックスなどの投函のお願い、哇野駅前での署名活動を行い、5月15日までに預かった446人分を検討委員会へ届けることができました。ご協力いただき、ありがとうございます。



請願署名は5月20日に締め切

つて集約し、川西市議会へ提出されるところと聴かれています。議会で十分議論を尽くし、住民の強い願いであるこの請願が採択されるよう努力していきます。引き続き、これからの状況や結果は報告していきますので、よろしくお願ひします。

## 努力して赤字減らす

今回の署名活動は、今年3月18日開催の川西市地域公共交通会議※で事務局が「運転士を一人減らし、平日の38便を30便にする」ことを提案、承認されたことからはしりました。

大和地域では、以前から乗客増加キャンペーンや運賃値上げ、ダイヤルートの見直しなど、バス存続のための努力を鋭意続けてこられました。

過去には300万円以上あった赤字が、2022年10月から翌年9月までの1年間で約1600万円まで減少。市の補助金も予算と比べ500万円少なくてすみました。

## 具体案提案も話し合いなし

大和交通検討委員会は、今回の減便承認に至るまでに、市に対して平日38便存続のための地域ができるいくつかの具体的提案をしてきましたが、その話し合いもされないうまま、今回の減便の承認(※川西市地交会議)に至ってしまいました。

## 無理難題の市の方針

市は、「バスに代わる新たな交通手段を地域住民主体で考え運行すること」を市の方針として示していますが、年間15万人が利用する大和循環バスの利用規模を考えれば、現在のバス運行の代わりになる交通手段などありえません。

市の方針は無理難題の押し付けというほかありません。

公共交通を確保するうえで国や自治体の支援・補助金は必要不可欠。豊橋市や旭川市では、運転士確保などを事業者任せにせず、自治体として取り組んでいます。

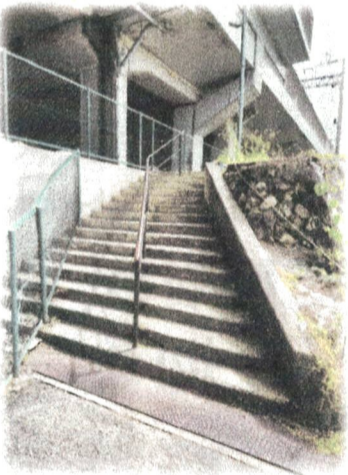
高齢者交通費補助をなくし、通学費補助もない川西市。基本的人権としての移動権の保障が求められている今、今以上の後退を招かないよう、しっかりと声をあげ続けましょう。

## 署名活動中にお聴きした主な声を紹介します

「川西って何も無いのに(交通費補助・支援、コミュニティバス、乗り合いタクシーなど)、まだ減らすの?」「地域住民が、乗降客を増やすために、いろいろと考え努力している。どう評価しているのか」「自分は駅から近いので乗らないが、まちづくりの要としてバスが便利に使えるというのは絶対に大切」「東谷中学校へ通うことも達も乗れるようにするなど、いろいろ乗客確保のための工夫できるのではないか」「病院が能勢口に行って遠くなったのに、バス便が減ったらもっと不便になる」「買い物に来る時はバス利用。重たい買い物をした時の帰りはタクシー利用など、地域の交通は守っていききたい」「まだまだ高齢化が進む。免許の返納は、運転手だけでなく家族も不便になる。それぞれの地域に見合った交通網が必要」・・・本当に様々な要望や声が聴こえてきます。当然ですよ。

平日8本も減便されれば、時間の都合で利用しない、できない人が増加し、乗降客数が減るのは必至。客数減と減便の悪循環につながります。

「昨年10月からの新ルートでの運行や、今年4月からの哇野駅周辺の駐輪場有料化等の検証がないまま減便はしないでほしい」という請願趣旨に記載されている内容は十分理に叶っています。6月議会での請願採択へ、一緒にがんばりましょう。



山下南駐輪場  
山下駅東駐輪場は定期貸しだけ。一時貸しは、南と北にしかありません。

駅前すぐの北が満車になると、南に行かざるを得ません。北駐輪場からすぐ南へ行くには写真の階段がバスロータリー～郵便局～スーパーをぐるりと回っていかないと段差のない南駐輪場にいきません。

## 駅前駐輪場の有料化

5月21日から「券売機」スタート  
無人になって大丈夫?!

4月1からはじまった駅前駐輪場の有料化。券売機が間に合わず、一時貸しの処には人員が配置されました。やっと機械が設置され、5月21日から稼働するそうです。機械警備になると人の配置が常駐ではなくなり、巡回になる予定です。機械操作や何かアクシデント、トラブルがあった時に対応できるのか、不安や心配の声が聴こえてきます。

定期契約をした方とそのまま停めている方。定期が一杯であふれた方。一時貸しが一杯で停めることができなかつた方。予約の時点から聴こえてくる不満や憤りの声。はじまってからも、どこに停めて良いのかわからない。空いている駐輪場があるのに、なぜ臨機応変に対応できないのか。不公平感や不親切な掲示や対応の声が後を絶ちません。

見切り発車やめて!



混乱する実態や寄せられた声は、担当課の方に伝え、市としての責任を明確に果たすよう伝えていきます。利用者が、「サービス向上」を実感できていません。

案じていたように、停めることができず自宅に自転車を持って帰った駅前で購入するだけなのに110円払えない通勤に使うのに予約できなかった地域に行く一番たくさん聴こえてくるのは、駐輪場有料化への不満の声。「もっと、しっかり準備をしてからスタートするべきだ」「何台停めるのかなど現場リサーチをして利用者が困らない配慮をするべき」「どこが定期で一時貸しかなど説明があまりにも不十分」と当然の声。改善されるまで、しっかり声をあげていきます。

黒田の自転車の長さで路地幅がわかると思います



北陵地域から東谷

中学校へ通う生徒の自転車通学

が2学期から始められようとしています

が、駐輪場の確保ができず「東谷幼稚園・園庭」利用、生徒はR173(自歩道)を通り「織田内科」横の路地(写真)を出入りする案がでています。小学生も通る歩道、児童生徒の安全対策や住民への情報提供や周知、協力は欠かせないと声をあげています。